

ジャガイモ栽培における有機栽培体系の構築と実証



(独)農研機構 中央農業総合研究センター
茨城県農業総合センター農業研究所



ジャガイモ栽培で問題となる病害(そうか病, 疫病等)に対して, 有機JASに適合した防除技術を体系化し, 病害が問題になっている現地有機実践ほ場で実証試験を行った結果, 病害の発生が抑制され, 可販品収量が大幅に増加することを明らかにしました。また, ジャガイモの可販品収量あたりの環境負荷は, 現地慣行有機栽培と比較して小さくなりました。

有機JAS認証ほ場における有機栽培体系の現地実証

輪作 ジャガイモ3年1作体系でそうか病の発病抑制

	前作	1年目	2年目	3年目
技術実証区	ジャガイモ	ヘアリーベッチ レタス	ヘアリーベッチ トウモロコシ	ジャガイモ
慣行有機区	ジャガイモ	ジャガイモ ホウレンソウ	ジャガイモ	ジャガイモ

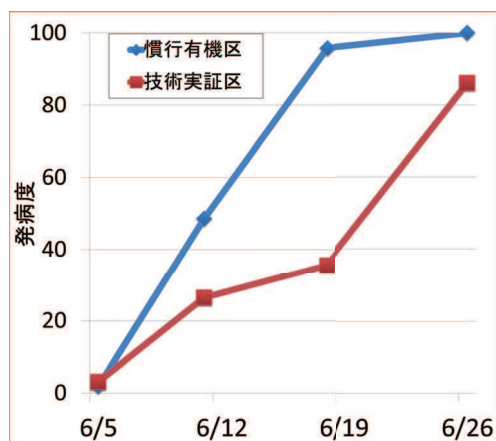


米ぬか・納豆等有機物の土壌混和によるそうか病発病抑制



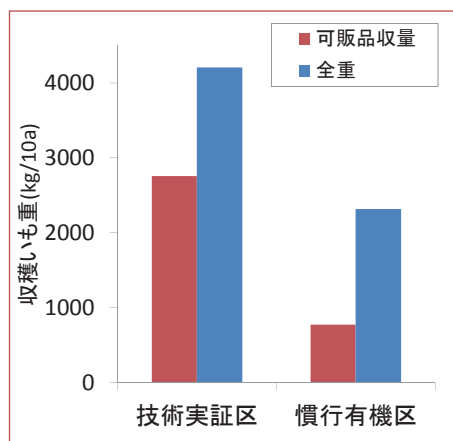
銅水和剤による疫病防除

疫病の発病推移



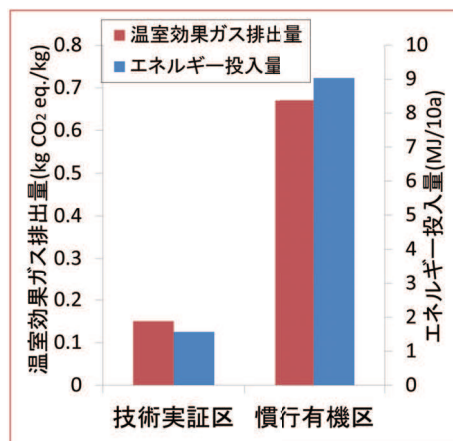
疫病の発生を抑えることで, ジャガイモの肥大に重要な生育期後半の生育を確保できました!!

収量



輪作と有機物のすき込みによってそうか病の発生が抑えられ, 可販品収量が大幅に増加しました!!

環境影響評価(LCA)



ジャガイモの可販品収量あたりのエネルギー投入量および温室効果ガス排出量は大幅に減少します!!

実証技術のマニュアルを作成し, 技術の普及を目指します

問い合わせ先: 茨城県農業総合センター農業研究所 青木一美 ka.aoki@agri.pref.ibaraki.jp